

◆特に注意していただきたいこと

注意 (取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険、及び物的損害のみの発生が想定されることを示します。)

■やけどに注意

●使用中及び使用後は、ヘッドカバー、ガラスホヤ、ホヤ受けは高温になっていますので、手を触れないでください。
●使用の際は、お子さまが触れないよう十分に注意してください。

■異常時の処置

●万一、異常燃焼を起こした場合や緊急の場合は、点火スイッチのロックを解除し消火してください。それでも消火しない場合は消火器などで消火してください。
●ガス漏れや不完全燃焼は大変危険です。正常な使用方法でガスくさいときは、直ちに使用を止めて当社「お客様係」☎0120-75-5000までご相談ください。

■点火時の注意

●点火する前にマンテルが破損していないことを確認してください。破損したマンテルを使用すると、正常な光が得られないほか、ガラスホヤの割れや本体の過熱によるやけど、火災の危険があります。

■換気に注意

●屋外専用ですので屋内では絶対に使用しないでください。
●屋外でも換気の不十分な状態で使用すると、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。

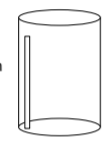
■収納時の注意

●使用後しばらくは燃焼部全体が熱くなっていますので、すぐに専用ケースに収納しないでください。
●お子様の手の届かぬ場所に保管してください。

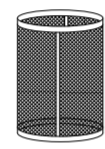
エタノール等のアルコール類をつけたりこれらで拭いたりしないでください。タンク部などの樹脂部の破損の原因となります。

◆別売品

●交換用ガラスホヤ
STG-202
外形寸法:直径40×高さ54mm
材質:耐熱ガラス



●交換用メッシュホヤ
STG-203
外形寸法:直径40×高さ54mm
材質:ステンレス



●マンテル
STG-201
(3枚入)



●交換用カラーガラスホヤ
STG-206
外形寸法:直径40×高さ54mm
材質:耐熱ガラス



虫には感じにくいオレンジ色の光で防虫効果を発揮します。

◆アフターサービス

アフターサービスのご依頼をされる前に6ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」を見てもう一度確認してください。確認の上、それでもご不明な場合は、ご自分で修理なさらず、お買い求めになった販売店又は当社「お客様係」☎0120-75-5000までご相談ください。

G-ランプ・ソリッド保証書

この製品は万全を期していますが正しい使用にもかかわらず万一故障した場合は本保証書にお買上げ年月日、販売店名、ご芳名、ご住所、お電話番号及び症状をお書き添えの上、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

製品名・型式	G-ランプ・ソリッド STG-23	ご芳名	
保証期間	お買上げ日より1年間	ご住所	
お買上げ日	平成 年 月 日	お電話	()
取扱販売店・住所・電話番号			
症状			

保証規定

- ※この保証規定は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- 保証期間内に、取扱説明書に従った正常なる使用状態において、万一故障した場合には、無料で修理いたします。
 - 修理依頼時には、つぎの事項にご注意ください。
 - 必ず、商品と本保証書をご提示ください。
 - 保証期間を過ぎた修理依頼も商品と本保証書をご提示ください。
 - 商品と本保証書の提示のない場合は、修理をお断りする場合があります。
 - ご購入品等で本保証書にお買上げ販売店に修理のご依頼できない場合は、当社「お客様係」☎0120-75-5000までご連絡ください。
 - 保証期間内でも、つぎの場合は有料修理になります。
 - 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買上げ後の落下、移動、輸送等による故障及び損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、塩害、弊社指定以外の燃料使用によるもの、その他、天災地変、公害による故障及び損傷。
 - 保証書の提示がない場合。
 - 本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。本保証書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

新富士バーナー株式会社



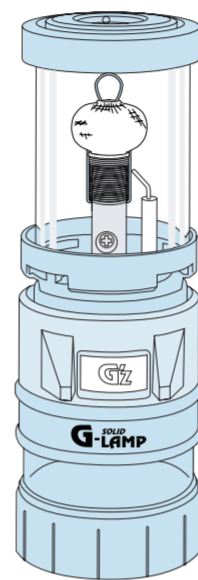
製造発売元
新富士バーナー株式会社
〒441-0314
愛知県宝飯郡御津町御幸浜1号地1-3
TEL:0533-75-5000(代) FAX:0533-75-5033
http://www.shin Fuji.co.jp/ E-mail:info@shin Fuji.co.jp MADE IN JAPAN



G-ランプ・ソリッド STG-23

取扱説明書 (生産物賠償責任保険、保証書付)

このたびは、G-ランプ・ソリッドをお買上げいただきまして誠にありがとうございました。本製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき大切に保管してください。



目次

特に注意していただきたいこと	1~2	日常の点検・手入れ・保管	6
各部の名称/仕様	3	故障・異常の見分け方と処置方法	6
使用方法	3~5	アフターサービス	7

◆特に注意していただきたいこと

警告 (取扱いを誤った場合、使用者が死亡、又は重傷を負う可能性が想定されることを示します。)

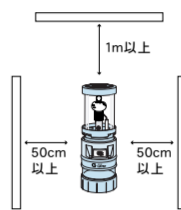
■使用場所について

●屋外専用です。テント内、室内、車内では換気が不十分になりますので使用しないでください。酸欠や不完全燃焼による一酸化炭素中毒事故の危険、または火災の危険があります。



■燃えやすいものから

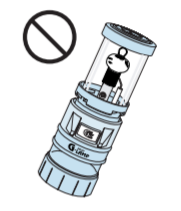
●燃えやすいものからは上部1m以上、周囲50cm以上離して使用してください。
●ヒーターやたき火の近くなど熱気があたる場所では使用しないでください。タンクが過熱され爆発する危険があります。



●石やブロック及び板等で全面を囲んでの使用はタンクが過熱し、非常に危険ですのでおやめください。

■使用時の注意

●点火中に持ち運ぶとやけどや火災の原因になります。移動は必ず火を消してからにしてください。
●点火中は絶対に横転させないようにしてください。横転すると消火せず、やけどや火災の原因になります。



■ガス事故防止

●使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も時々正常に燃焼していることを確かめてください。
●万一、ガス漏れがあった時は、特有のにおい(玉ねぎの腐ったようなにおい)がしますので、すぐに点火スイッチのロックを解除して消火し、空気を入れかえてください。
●タンクガスは比重が重く下部にたまりやすいため、完全に換気できるまでは火気は絶対に使用しないでください。

■充てん時の注意

●必ず火気のない屋外で行ってください。
●充てん時及び充てん後にガス漏れのないことを確認してください。
●点火中は絶対に充てんをしないでください。
●ガスがタンク内に残っていると充てんできないことがあります。タンク内のガスを使いきってから充てんしてください。

■点火時の注意

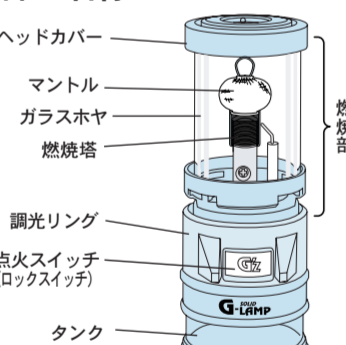
●点火する前にマンテル及びガラスホヤが破損していないことを確認してください。破損したマンテル及びガラスホヤを使用すると異常燃焼や事故の原因になります。
●必ず直立させて点火してください。

■保管時の注意

●本体をファンヒーターの前など熱気があたる場所に放置しないでください。熱でタンク内の圧力が上がり爆発する危険があります。
●本体に強い衝撃を与えないでください。
●本体を保管する際は室内や車内の窓際など直射日光のあたる場所や熱気のあるところを避けてください。

◆各部の名称/仕様/使用方法

■各部の名称



■仕様

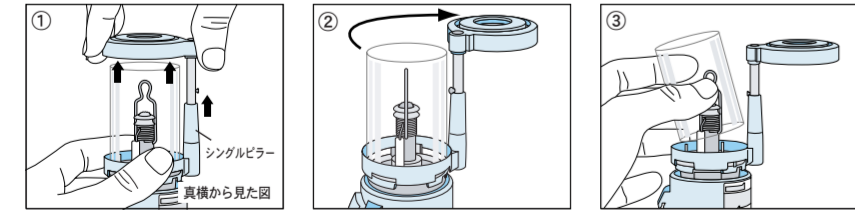
製品名	G-ランプ・ソリッド
型式	STG-23
寸法	幅47X奥行60X高さ138mm
重量	150g
ガス容量	約15g
連続燃焼時間	約1.5時間
照度	70ルクス ※
使用燃料	推奨ボンベG-FUEL(STG-70,71) 経済的なカセットガス、ライター用ガス
点火方法	圧電点火方式
材質	本体タンク部:樹脂、ガラスホヤ:耐熱ガラス、ヘッドカバー・ホヤ受け:アルミダイカスト、燃焼塔:ステンレス
付属品	収納ケース、マンテル

※室温25℃、点火3分後の光源より50cm離れた地点での測定値。

■ヘッドカバー、ガラスホヤの取り外し、取り付け方法

※シングルピラー部はバネ式になっています。ヘッドカバーは必ず垂直に引き上げて回転させてください。

- ガラスホヤを片手でささえながらヘッドカバーを水平に180度回転させます。
- ヘッドカバーを水平に180度回転させます。
- ガラスホヤを外します。



④マンテルを取り付け空焼き後、ガラスホヤをセットし、片手でささえながらヘッドカバーを回転させガラスホヤの上に乗せます。



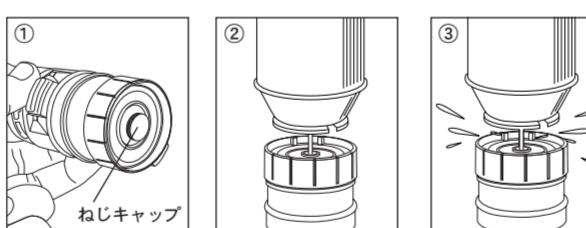
注意

ヘッドカバーを回転させる際は止めビスをシングルピラーの上まで引き上げてから行ってください。シングルピラーの引き上げが不十分のままヘッドカバーを回転させると破損する恐れがあります。

◆使用方法

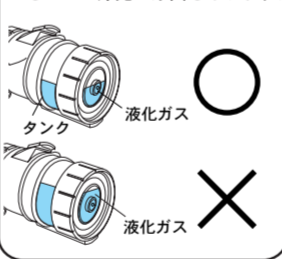
■ガスの充てん

- 本体の底のねじキャップを左に回しゆるめ、本体から取りはずします。
- 本体を逆さにして、ガス充てん口(ポンプ)のステム(先端部)をまっすぐ差し込み、ガスを充てんします。
- 充てんしたガスの液体部分がタンクの約半分位になると、ガス充てん口から液体ガスが吹き出しますのでこれを目安に充てんを終了します。ねじキャップを取り付けます。



警告

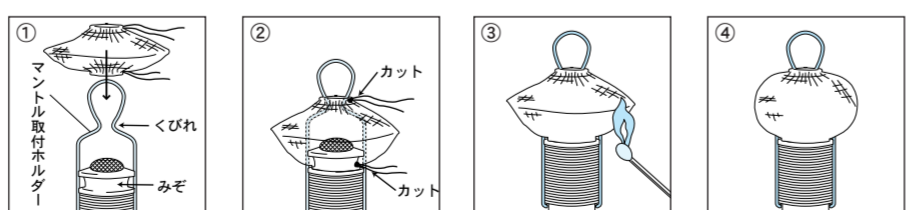
ガスはタンクの約半分以上充てんしないでください。過充てんは生ガスが赤く燃えあがることによるやけどやタンク内の圧力が上がることによる爆発の原因となります。



■マンテルの取付け、空焼き方法

※専用マンテルSTG-201をお使いください。

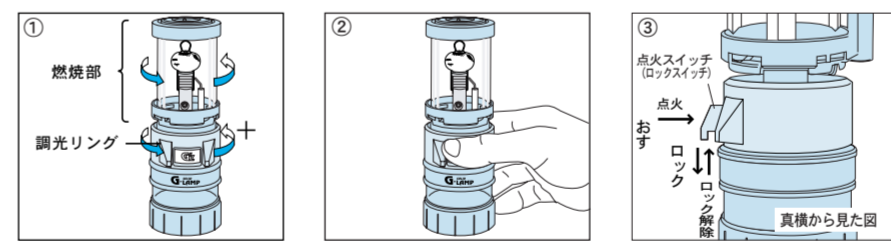
- ヘッドカバーを回転させ、ガラスホヤを外します。
- マンテルの上下の穴(上下どちらでもよい)を少し広げ、燃焼塔に差し込みます。マンテルの下の穴を燃焼塔のみぞ、上の穴をマンテル取付ホルダーのくびれにあわせてひもでしばります。(図①)
- ※余ったひもは必ず切ってください。(図②)
- マンテルにマッチ、ライター等で数カ所点火します。(図③)
- 点火スイッチを押しガスを出しながらマンテルの下の穴を燃焼塔のみぞ、上の穴をマンテル取付ホルダーのくびれにあわせてひもでしばります。(図④)
- ※やけどに注意し、マンテルを壊さないようにガラスホヤ、ヘッドカバーを取付けます。



※マンテルが燃えると刺激臭の煙がでますので、必ず屋外で行ってください。
※ボール状の灰になったマンテルは、壊れやすいので指や棒で触れないでください。
※マンテルが壊れたり、穴が開いたまま点火するとガラスホヤの割れや異常燃焼、また事故の原因になりますので必ず新しいマンテルと交換してください。
※マンテルは、消耗品ですので必ず予備のマンテルをご用意ください。
※空焼きをしたマンテルは、衝撃や振動でこわれる場合がありますので、本体の持ち運びや移動の際は十分注意してください。

■点火

- タンクを固定し、調光リング(燃焼部と調光リングは一体になっています。)を+の方向へ回しガスを全開の位置にします。
- 図②のように調光リング、タンク、点火スイッチを持ちます。
- 点火スイッチをゆっくりと「カチッ」というまで押します。点火を確認してからスイッチをそのまま下へ下げロックします。点火しない時は、点火スイッチを続けて数回ゆっくりと押しします。
※点火スイッチを速く押すと点火しない場合があります。点火スイッチはゆっくりと押ししてください。



注意

- 点火時は生ガス(白い霧状のガス)が出て、一時的に10cm位の炎がヘッドカバーの穴から赤く燃えあがる場合がありますが異常ではありません。但し、やけど等の恐れがありますので、点火時は顔を近づけないでください。
- 生ガス(白い霧状のガス)が出たときは点火しないでください。しばらくしてから再度点火スイッチを押し、生ガスが出ないのを確認してから点火してください。
- 燃焼中「ポッポ」と燃焼塔より小さな音と炎がでることがありますが異常ではありません。

■光量調整

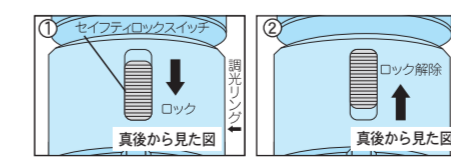
光量調整は、調光リング(燃焼部と調光リングは一体になっています。)で明かりを確認しながら行います。

■消火

点火スイッチを上押し、ロックを解除して消火します。

■セーフティスイッチの使い方

- 誤って点火スイッチを押すのを防ぐため、持ち運びの際など使用しないときはセーフティロックスイッチを必ず図①のようにロック(下側)の位置にします。
- 使用する際は、セーフティロックスイッチを図②のようにロック解除(上側)の位置にします。
※持ち運びの際など使用しない時は必ずセーフティロックスイッチを必ずロック(下側)の位置にしてください。



◆日常の点検・手入れ・保管

■点検・手入れの際のご注意

- 日常の点検・手入れは必ず行ってください。
- 点検・手入れは、各部が完全に冷めてから行ってください。
- 故障又は破損したと思われるものは使用しないでください。
- 不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処理に困るような場合は、お買い求めになった販売店又は当社「お客様係」☎0120-75-5000までご相談ください。

保管

- 燃焼部が十分冷めてから収納ケースに入れ、湿気のない場所に保管してください。
- お子様の手の届かない所に保管してください。

点検・手入れ

- 汚れやほこりは乾いた布で拭きとってください。
- 破損したマンテルを取り除くときは灰残が燃焼塔の小穴に入らないよう行ってください。

◆故障・異常の見分け方と処置方法

原因	ガスが出ない	ガスのおいがする	点火しにくい	照度が弱い	使用中に消火した	処置方法
器具栓の故障	○	○	○			点検・修理を依頼する
ノズルがつまっている	○	○	○	○	○	点検・修理を依頼する
ガスがなくなっている(少なくなっている)	○	○	○	○	○	ガスを充てんする
電極部の汚れ			○			汚れをふきとる
点火操作が適切でない			○			正しい点火操作をする
点火装置の故障			○			点検・修理を依頼する

※ロックを解除しても消火しない場合はガスがなくなるまで燃焼させたのち、点検・修理を依頼してください。